広陵

第43号 2014.6.20

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

平成25年度総会報告

伊勢原支部

吉野富夫（高27回）

平成25年度同窓会総会が6月30日(日)午後2時から伊勢原市民文化会館展示室で開催された。総会開催の広告をタウンニュースに掲載したこともあり、66人の会員の出席があった。

総会は、苅籠副会長の開会で始まり、畑野会長の挨拶、時乗校長の来賓挨拶の後、瀬戸当支部長を議長として議事に入った。

平成24年度の事業・決算報告が行われ、承認された。次に、平成25年度事業計画・予算の提案説明が行われ、これらも可決決定され、最後に、平成24年度全国大会支援金収支決算の報告があり、関副会長の閉会で締め括られた。

総会終了後、写真撮影があり、場所を隣の市役所食堂に移し、宍戸伊勢原市副市長の開会で懇親会となった。

アトラクションは「伊勢原手作り甲冑隊」による公演が行われ、詩吟、黒田節の合唱や相模伊勢原五人部将の揃踏みと口上があり、「ときの声」で締め括られた。

懇親会の最後に校歌を斉唱し、閉会をした。

同窓会会報第43号目次

表紙　題字　宮本　信義（中5回）
スケッチ「あたり前だった徒歩通学」
岡村　泰成（高6回）
平成25年度事業報告・決算報告……2
平成26年度事業計画(案)・予算(案)……3
ごあいさつ　同窓会会長・畑野公保
校長・神戸秀巳……4
前校長・時乗洋昭……4
支部だより……5
秦中・秦高在職中の想い出……7
広畑が丘空晴れて秦中・秦高に想う……8
同期会だより……10
平成27年度（第10回）校歌祭の幹事校に決定！……11
シリーズ杉山長風（茂夫）先生の記念講演①……12
同窓会委員会の組織……13
部活動の記録……14
全国大会派遣支援活動報告……15
母校2013年度進路状況……16
叙勲・春の異動・物故者など……18

総会へのお誘い

同窓会長　畑野公保

平成26年度総会は、ホテルサンライフガーデンで平塚支部の皆様に設営していただきました。会員各位のご参加をお願いします。

平成26年度 秦野高等学校同窓会

～総会のご案内～

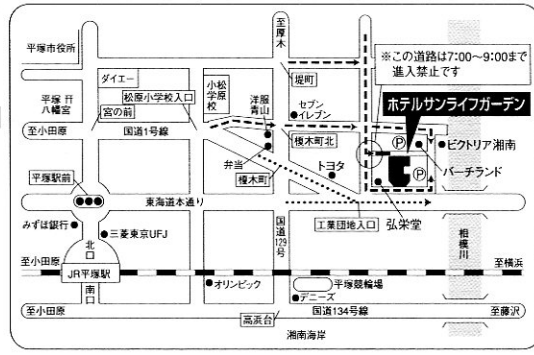
日　時　6月21日(土)

場　所　ホテル サンライフガーデン
平塚市榎木町９番41号
ＴＥＬ（0463）21－7111

総　会　日　程

総会日程

A.M.10：00　受　付
10：30　講演「大地震に備えて」
11：00　総　会
▒25年度事業報告及び決算報告
▒26年度事業計画及び予算審議
▒その他
＊ 総会終了後、懇親会
・会費5,000円（当日納入）
・形態　着席方式で自由席とします。
・申込　会場準備の都合上、出席者は「卒業期」と「氏名」を平塚支部
0463－33－3121　出縄まで（留守電対応）※申し込みは６月15日まで



会場へのご案内
◆バス　平塚駅北口前ロータリー９番線乗り場
茅ヶ崎駅行き・馬入橋下車
◆シャトルバス　平塚駅北口前ロータリー　一般車乗降場発車時刻
9:15　9:45　10:15　10:45　11:15
◆徒歩　平塚駅北口から約15分

県立秦野高等学校同窓会本部役員名簿

【顧　問】　柳川　一朗（高１）秦　野
【会　長】　畑野　公保（高７）伊勢原
【副 会 長】　青木　利之（高４）秦　野　　苅籠　光男（高16）伊勢原
関　恒久（高19）平　塚　　石田　邦雄（高７）小田原
大庭　進（高７）南足柄　　長沢　孝治（高13）東　京
【支 部 長】　榎本　圭治（高２）秦　野　　瀬戸洋四郎（高15）伊勢原
出縄　高昭（高19）平　塚　　柏木　勝（高９）小田原
関　操（高４）南足柄　　飯尾　美甫（高８）東　京
【会　計】　能條　剛（高17）伊勢原　　久保寺富男（高11）秦　野
【会計監査】　多田　重雄（高10）伊勢原　　飯田　重明（高16）平　塚
【校内幹事】　高田万友美　　相原芳夫（高23）
【事 務 局】　〈局長〉田中信一（高18）伊勢原　　〈次長〉高梨　剛（高34）伊勢原
〈書記〉瀬戸紀彰（高44）伊勢原
木村菜花（高57）秦　野　　亀井ゆう子（高57）伊勢原

平成25年度決算報告

◎収入の部

自　平成25年4月1日
至　平成26年3月31日

項　目	25年度予算額	25年度決算額	増　減	摘　要
前期繰越金	5,018,743	5,018,743	0	
終身会費	4,000,000	3,128,735	△871,265	新会員304名、既存会員9名
預金利息	4,000	4,714	714	
雑 収 入	0	120,000	120,000	広陵広告協力金他
合　計	9,022,743	8,272,192	△750,551	

◎支出の部

項　目	25年度予算額	25年度決算額	増　減	摘　要
会議費	330,000	296,914	△33,086	
総会費	250,000	250,000	0	総会開催諸経費(伊勢原支部担当)
役員会議費	80,000	46,914	△33,086	会議飲み物代
事業費	3,320,000	3,286,054	△33,946	
支部育成費	240,000	240,000	0	6支部
同期会育成費	80,000	60,000	△20,000	1同期に10,000円助成
在校生活動振興費	700,000	700,000	0	部活動、教育活動
会報発行費	1,930,000	1,939,934	9,934	広陵発行(印刷、発送料)会員増
校歌祭参加費	230,000	250,661	20,661	参加費、バス代、ユニホーム補充代
ホームページ運営費	140,000	95,459	△44,541	ホームページ運営費
慶弔費	50,000	0	△50,000	
事務費	190,000	80,994	△109,006	
事務局費	150,000	64,110	△85,890	事務消耗品代、感謝状、額縁他
通信費	30,000	10,620	△19,380	郵送代(切手・ハガキ)
印刷費	10,000	6,264	△3,736	会議資料代、コピー代
予備費	5,132,743	4,608,230	△524,513	
合　計	9,022,743	8,272,192	△750,551	

同窓会積立金残高 31,500,000円

平成25年度秦野高等学校同窓会の会計収支決算について、関係帳簿及び書類等を審査した結果、正確・公正に処理されていることを認めます。

平成26年4月11日

会計監査　飯田重明
会計監査　多田重雄

左記のとおり報告します。

平成26年4月11日

会長　畑野　公保
会計　久保寺富男
会計　能條　剛

平成25年度事業報告

1　総　会

◉6月30日（日）
伊勢原市民文化会館展示室

2　役員会

◉4月9日　本部役員会
◉4月12日　会計監査
◉4月21日　本部役員会
◉4月27日　同窓会、高校との打ち合わせ
◉7月2日　本部役員会
◉9月14日　本部役員会
◉11月2日　本部役員会
◉1月25日　本部役員会
◉2月22日　本部役員会
◉3月22日　本部役員会

3　常任幹事会

◉4月27日　常任幹事会

4　会報「広陵」42号発行・配布

5　支部育成6支部に活動費を助成

6　同期会支援6同期会に祝金贈呈

7　第8回青春かながわ校歌祭に参加
期日　9月28日　会場　県立青少年センター　参加者　同窓会員・生徒・先生計55名参加　合唱曲目　校歌・第一応援歌：第二応援歌

8　在校生への活動支援

◉校内マラソン大会、湯呑茶碗贈呈
◉吹奏楽部助成
◉県・関東・全国大会出場支援等

9　伊勢原・秦野地区同窓会連絡協議会に参加　期日8月4日　会場　タウンニュースビル
参加者　秦野・秦野曽屋・秦野総合・伊勢原・伊志田の各校同窓会役員・校長　36名参加
各校同窓会の現状報告と意見交換と懇親会

平成26年度予算（案）

◎収入の部

自　平成26年4月1日
至　平成27年3月31日

項　目	25年度決算額	26年度予算額	増　減	摘　要
前期繰越金	5,018,743	4,608,230	△410,513	
終身会費	3,128,735	3,600,000	471,265	新会員350名、既存会員10名
預金利息	4,714	4,500	△214	
雑 収 入	120,000	90,000	△30,000	広陵広告協力金
合　計	8,272,192	8,302,730	30,538	

◎支出の部

項　目	25年度決算額	26年度予算額	増　減	摘　要
会議費	296,914	330,000	33,086	
総会費	250,000	250,000	0	総会開催諸経費
役員会議費	46,914	80,000	33,086	会議飲み物代
事業費	3,286,054	3,370,000	83,946	
支部育成費	240,000	240,000	0	6支部
同期会育成費	60,000	80,000	20,000	1同期に10,000円助成
在校生活動振興費	700,000	700,000	0	部活動、教育活動
会報発行費	1,939,934	1,990,000	50,066	広陵発行（印刷、発送料）、会員増
校歌祭参加費	250,661	270,000	19,339	参加費、バス代 ユニホーム補充代
ホームページ運営費	95,459	90,000	△5,459	ホームページ運営費
慶弔費	0	50,000	50,000	
事務費	80,994	120,000	39,006	
事務局費	64,110	70,000	5,890	事務消耗品代
通信費	10,620	15,000	4,380	郵送代（切手・ハガキ）
印刷費	6,264	35,000	28,736	会議資料代、創立90周年振込用紙代
予備費	4,608,230	4,432,730	△175,500	
合　計	8,272,192	8,302,730	30,538	

平成26年度事業計画（案）

1　総会・幹事会・役員会・各種委員会の開催

2　会報「広陵」第43号の発行・配布、ホームページ管理・運営

3　第9回「青春かながわ校歌祭」に参加
平成26年10月12日（日）
よこすか芸術劇場

4　支部育成と同期会支援

5　在校生への活動支援と交流活動費助成・全国大会等への派遣費助成・学校事業への参加

6　秦野高等学校創立90周年事業の準備

7　秦野・伊勢原地区同窓会連絡協議会への参加

表紙スケッチ

あたり前だった徒歩通学

岡村泰成（高6回）

今から60年も前のこと、電車通学を除き、皆、徒歩通学でした。冬の寒い日も大雨の日も毎日バンカラ風に白い鼻緒の朴歯の高下駄、詰め襟に学帽は靴墨でテカらせ、つばを折って〝広畑が丘空晴れて〟。3年生からは自転車通学が許されたように思います。バイトで手に入れた自転車は実に爽快でした。

＊

昭和29年卒業、昨年自作の枕草子『春は曙、秋は夕暮れ』を寄贈させて頂きました。東京藝術大学デザイン科卒、日本美術家連盟会員、Moss Spirits代表、元創作画人協会理事選考委員、事務局長。

青春かながわ 校歌祭 幹事校として

同窓会会長　畑野公保

新緑のさわやかな季節となりました。同窓会の皆様には、ご健勝にてそれぞれの分野でご活躍のことと推察致します。

さてこの度、第10回の「青春かながわ校歌祭」の幹事校として、かながわ校歌祭振興会よりご推挙頂き、平成27年10月17日(土)に秦野市文化会館にて開催することとなりました。主催かながわ校歌祭振興会・共催神奈川県教育委員会の指導のもと、総力をあげて準備に当りたいと思っています。地元の秦野市からも熱いご声援とご協力を頂いております。

また、平成28年には創立90周年を迎えます。文武両道、質実剛健の精神が生徒達に受け継がれ、勉学や部活動に打ち込んでいる姿は素晴らしいというひと言です。校長先生をはじめ諸先生方のご指導の賜物と思っています。

ご承知のように同窓会として、校内マラソン大会記念湯呑茶碗の贈呈、関東・全国大会への出場支援、クラブ活動助成等毎年行っており、活発な活動を期待しています。

最後になりましたが、平成26年度の総会を平塚支部のご協力により6月21日(土)に開催致します。大勢の会員諸氏のご参加をお待ちしております。

何とぞ今後の同窓会活動にご支援・ご協力を切にお願い致すと共に、会員の皆様のご健勝とご活躍を念じつつご報告とご挨拶とさせて頂きます。

笑顔と元気の 獲得に向けて

校長　神戸秀巳

時乗洋昭校長の後任として、茅ヶ崎西浜高校より着任いたしました。神奈川の中核をなす秦野高校での勤務をとても楽しみにしています。

秦野高校について、①明治19年草創、これまでに多くの優秀な人材を輩出した伝統校②90%以上の生徒が部活動に本気で取り組み、全国大会・関東大会への出場が多数③全国の高校との連携を活用し、勉強においても「てっぺんをめざす」教育を実践、と皆さんにお話ししています。

育てたい人間像に、①あたりまえのことがあたりまえにできる人間②何をするべきかを自らの頭で考え、心で感じ、自らの責任で判断し、自分の言葉で表現し、積極果敢に挑戦し、自ら人生を切り拓いていく人間③地域の活動に加わり、育てられた地域に貢献する人間、を掲げています。

同窓会の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

広畑ヶ丘 空はれて

前校長　時乗洋昭

平成24年度から2年間という短い期間ではありましたが、秦野高校の校長として非常に楽しい時間を過ごさせていただきました。

学習活動に、部活動に、学校行事にと、どれひとつ手を抜くことなく全力で取り組む秦高生の姿は魅力的であり非常に高い将来性を感じさせてくれました。

正に、停滞感漂う今の日本を打破し、新たな日本を創り上げるのはこのような人材なのだ、ということを確信した2年間でした。

また、このような生徒を支えてくださっている同窓生の皆様の存在も大きく、生徒は様々な場面で出会う同窓生の皆様から、確かな勇気と自信を受け取っていました。引き続きご支援をお願いします。

最後に、皆様のご健勝と秦高同窓会の益々の発展を祈念するとともに、秦高同窓会主管による第10回青春かながわ校歌祭で皆様と共に校歌を歌う日を楽しみにしております。

支部だより

平塚支部

出縄高昭（高19回）

平成25年6月2日付けで、「平成25年度平塚支部役員会兼総会」の通知文を発送し、書面総会を開催しました。

総会議案については、第1号の24年度事業経過報告、第2号の24年度収支決算報告、会計監査報告、第3号の25年度事業計画(案)、第4号の25年度収支予算(案)の各議案の賛否を諮った結果、第2号議案について一部修正後、全議案が承認されました。

その他としては、平塚支部規約と平塚支部地区役員名簿の配付、同窓会本部役員会・幹事会の報告、25年度同窓会、青春かながわ校歌祭、『詐欺統発・同窓会名簿悪用か』等のオレオレ詐欺事件未然防止の資料を配付しました。

平成26年度の同窓会は、会場設営、議事進行、アトラクション、懇親会等を平塚支部が担当するため、4月中に支部幹部と日程を調整し、5月中に平塚支部総会を開催する予定です。

今回は大磯・二宮地区の同窓生の協力をいただき、役割分担や進行方法について積極的に意見交換を行い、支部員一同が一丸となって同窓会に向け頑張る所存です。

南足柄支部

関　操（高4回）

総会に出席しよう～学区制が廃止になり、通学範囲が広がったことで南足柄からの通学者も大幅に増加しました。と言っても、ここ数年間に十数名ずつですが、今まで年1～2名だったことから大変喜ばしいことです。昨年度で168名となっても、県内同窓会5支部の中では一番小支部で、学区制の影響で上は80代から各学年上に薄く少人数なのが難点です。地元育ちより編入者の方が多い状況です。

年1回の総会、他に随時懇親会と高校時代の思い出に花が咲き、1人でも多く参加して地域の絆を深めて行きたいと思います。60余年前の小田急線「大根駅」、平成の今は「東海大学前」となり、泥んこ道の面影はありません。

南足柄の総会では議事の他に、会員相互に1人ずつ講演会を行っています。演題は自由で趣味や旅行、歴史、体験談など幅広い。一杯やってお喋りするのもいいが、改まって人の講演を聴くのも楽しみの一つです。

同窓会に顔を出すのはどうしても定年後になってしまうが、会社を辞めて母校への思いをつなぎ、地域の同窓生としての仲間を増やしていきましょう。

小田原支部

石田邦雄（高7回）

昨年、小田原支部が再スタートしてから総会懇親会（以下「懇親会」という）は、第6回を迎えました。昨年の懇親会には、支部組織を持たない松田町・山北町・大井町・開成町と箱根町・真鶴町・湯河原町の65歳以上の会員の方々に「当支部の懇親会に参加されませんか」との案内通知を出し、8名が参加されました。欠席された方々から「組織のない私達に呼びかけてくれて本当にありがとう。とてもうれしいです」と、多数の感謝の返信をいただきました。

各種宴会・商談にご利用ください。
割烹　やなぎ家
秦野市寿町1-26　☎(0463) 81-2288
ホームページ　http://www.yanagiya.hadano.com

この誌上で、お呼びかけ致します。かつて小田原市内に市街地で過ごされ、現在は他所に居住されている方々、また市内・市街地で勤務された方々も是非、当支部の懇親会に参加されて、当時の思い出を語りませんか。

当支部の懇親会は、毎年4月第3日曜日に開催致します。会場は変更することがありますので、左記までお問い合わせください。

連絡先・石田邦雄（高7回）
☎0465—47—3642

秦野支部

宮永浩年（高3回）

秦野支部は昭和49年に、母校創立50周年記念事業（昭和51年式典開催）に協力するため発足しました。平成26年には40周年を迎え、会員数は年々増加し、現在5千4百名を超えています。

支部組織は、支部長の下に旧町村別に6地区に別れ、それぞれ地区長、副地区長、役員130名が選任され、支部運営を行っています。

事業としては、①「広陵」の会員への配付、②会員の異動の把握、③各地の伝統文化や歴史、自然環境の見学などの視察研修を通し、会員の知識向上と親睦を図っています。

今回の視察研修は「生涯学習の精神」を今に伝える、栃木県にある日本最古の学校「足利学校」を訪れ、当時の教育環境の一端を知ることができ、大変有意義な一日となりました。

支部運営の経費は「広陵」配付の郵送料と行事参加者の会費を充当しています。

今後の課題は、①終身会費の納入促進、②女性役員の増員を図る、③母校の地元であり中核支部として、母校並びに同窓会行事に積極的に参加し、会の活性化に協力するなどの検討を進めています。

伊勢原支部

平田真一（高28回）

6月30日、平成25年度の本部総会が時乗校長を来賓に迎え、66名の同窓生の参加のもと伊勢原市民文化会館において盛大に開催されました。担当支部として、本誌面をお借りし参加者の皆様に御礼申し上げます。

総会終了後の懇親会にも57名の同窓生に引き続き参加いただきましたが、懇親会に先立ち、アトラクションとして地元の「伊勢原手作り甲冑隊」による演舞も行われ、懇親会を盛り上げるとともに、先輩・後輩の垣根を越え、親睦を深めることができました。

また、支部恒例の秋の研修・親睦旅行は、年1回先輩・後輩が共に親交を深めるためのもので、今回は11月24日に浜松の航空自衛隊とうなぎパイファクトリー、龍譚寺などを見学しました。当日は天候にも恵まれ、秋景色を満喫し楽しい一日でした。

今秋も支部研修会としてバス旅行を計画しています。楽しい交流の場にしたいと思います。大勢の参加をお待ちしています。

東京支部

長沢孝治（高13回）

東京支部は、飯尾美甫会長が病気療養中で、支部としての活動が止まっています。

毎月1回の役員会には支部代表として出席していますが、今後、東京支部としての活動はどうするのか、皆様からのご意見や行動をお願い致します。

地域の健康を願って　SINCE1905
佐野十全堂薬局
〒257-0035　神奈川県秦野市本町2-5-6
代表電話（0463）81-0031

秦中・秦高在職中の想い出

卒業生のみなさんへ

宮路日出夫（社会）
（昭和55年～平成4年）

今、私は瞳を輝かせ青春のひと時を謳歌して卒業していった一人一人の顔が、目に浮んでいます。どんな巡り合わせで出会ったのか分かりませんが、みなさんと共に過ごすことが出来たことを、誇りに思っています。至らぬ私を暖かく支えてくれたことに、感謝しても感謝しきれません。

時折り秦高時代の善意ある方々の影が、私の前を横切ります。未熟で心に残るような人間でなかったことを、今日になっても恥じています。今、古哲の修養書を読み直しています。学べば学ぶほど至らなかった自分自身が身にしみています。

私には残されている時間は少ないけれども、やり残していることに向かってマイペースで歩んでいます。そしていま最も気になっていることは、卒業生の一人ひとりが残らず、希望を乗せて明日に向かって歩んでいるだろうかということであります。

科学技術の変動の激しい渦の中で、一人ひとりが自分を見失うことなく、勉学にも、部活にも、文化祭や体育祭にも心を燃やした日々は、君達の心の宝物として残っていることでしょう。

どうか、みなさんも天災地変にも、社会の荒波にも負けず、自分自身の身体に思いやりながら、活動されることを心から祈っております。

よき生徒に恵まれた日々

石川　聡（英語）
（平成2年～平成13年）

母校への転勤は、久しぶりにふるさとに帰省するような不安と期待が入り混じった不思議な緊張感を伴いました。

着任していきなり2年生の担任という異例なスタートで多少の戸惑いもありましたが、生徒は皆素直で大らかでありとてもよい印象を持ちました。男女共学となり、学校の雰囲気は変わりましたが、「文武両道」の校風は全く変わらず改めて伝統の重みというものを実感しました。

着任2年目に持った3年生のクラスは世界史・地理選択の文系クラスで、たいへん個性的な生徒が多く、にぎやかで活発のある雰囲気がとても好きでした。陸上競技・球技大会ではほとんど優勝だったと記憶しています。特に体育祭では、ミュージカル「キャッツ」をモチーフにした演目で応援合戦に優勝し、感動したことを覚えています。

同じ年に持った理系のクラスは、国公立大学希望の生徒が多く授業以外に英作文の添削指導をしました。英作文自体かなり高度な作業なのですが、生徒の達成度の高さに驚きました。自分にとってもたいへん勉強になった1年でした。

この年に体育館の新築工事が行われました。騒音等もあり生徒には気の毒でしたが、完成後その恩恵に浴することなく卒業しました。成人式の日に新体育館を使いたい、という要望に応えて準備に尽力したことも良い思い出です。

私は昨年3月に定年退職しましたが、秦高時代を振り返り、「いい時代だったなあ。」としみじみ感じています。

土地活用のご相談は
SBS
株式会社 島半
本　　社：神奈川県秦野市鈴張町5-30 ☎(0463)82-2211
東京支店：東京都港区南青山2-2-15-540 ☎(03)6447-1925
ホームページ　http://shimahan.co.jp/

広畑が丘　空晴れて
秦中・秦高に想う

岸宇之助さんと卓球

柳川三郎（中17回）

私は現在、週2回もしくは3回、1回に就き2時間程度の卓球の稽古をしている。

毎朝の犬を連れての30分程度の散歩と並んで、これが私の健康を支えている。

この卓球の基礎を私に教えて下さったのは、慶應義塾大学卒業後間もない頃の岸宇之助（物理の先生）さんであった。

秦中同期の数名が一緒に教わった。唯一の例外は三級下の古谷宇一郎君であった。

岸さんは私たちを集めて「学生」と言う名称のチームを作った。練習場所は小学校の講堂であった。そして積極的に対外試合に打って出た。

当時、秦野では葉煙草の「専売局」や「試験場」のチームが強かった。

これらのチームと対戦した時のチームとしての勝敗は全く憶えていない。どちらのチームか、すっかり忘れてしまったが私は一番手で登場し、勝って喜びに浸った事を今でも憶えている。

その頃、渋沢に林さんと言う人が住んでいた。この人は大平洋戦争後、印度のボンベイで開催された世界卓球選手権大会で優勝した人である。

岸さんのお骨折りに依ってその林さんに秦野へ来て頂いて、一度だけ指導を受けた事もある。その後、古谷宇一郎君とは生涯の友として交際を深め続けて行く事になるが、正に卓球が、そして岸さんがその切っ掛けを作って下さったのである。

フジフイルム秦高ＯＢ会

小泉明夫（高5回）

早いもので秦野高校を卒業して60年が過ぎました。私は新制中学の第1期生で、その3年間は小学校の仮りの教室と軍需工場跡の建物で雨や砂が降る教室で義務教育を終えて秦高に進学しました。

秦高では中学と全く違う個性の豊かな諸先生の教え方が強く印象に残っています。

今でもその姿を鮮明に憶えています。未だ戦後の貧しさが続いていた時期で、暑さ、寒さの中を片道40分も歩いて通学した事、修学旅行も参加希望者が少なくて中止になった事など、今では考えられない想い出もあります。

卒業後は直ちにフジフイルムに入社して国産初の総カラー（総天然色）フイルム映画の製作を担当しました。

映画に見るアメリカの豊かさに驚き憧れる一方、現実はアメリカの巨大フイルム会社「コダック」に追い付こうと必死で働きました。

その結果フジフイルムも大きく成長した処で私は定年を迎えられて幸せでした。

フジフイルム（Ｆ／Ｆ）秦高ＯＢ会には30名近くの会員が居て（高3回～高6回が中心）、今も毎年1回の同窓会を続けています。

会社内では殆んど接触がなかった人も多いが、一度顔を

湘南減災科学研究所

危機管理アドバイザー　出縄高昭（高19回卒）

合わせると、何とも言えない繋がりを感じて楽しく和やかな宴会となり、秦高の想い出話などに花が咲きます。

これが同窓会と言うものでしょうか。皆アラ80歳になるのですが、少しでも長く続けられるようにと思う今日此の頃であります。

五十余年前の秦野高校の生活を振り返る

三杉忠篤（高15回）

秦高に入学の頃、近くの先輩に連れられ自転車で才ヶ分の砂利道を、坊主頭、詰襟の学生服で、下駄か靴を履いて通学していました。

禁止になっていた長髪は生徒会と学校側の話し合いで長髪が認められ、下駄履が禁止になりました。

クラブ活動では新聞部に入部して「秦高新聞」の編集、印刷発行に携わりました。

印刷所は沼津でしたが、その後横浜の神奈川新聞社に変りました。原稿の校正と確認は現地（沼津や横浜）で行われましたので、学校の授業を抜け出しての作業はとても楽しみでありました。

神奈川新聞社での校正の時は活字の拾い出し、枠組み、そして輪転機にかけるための半円形の鉛版の作成、印刷等までの工程を見学させて戴きました。秦高の文化祭の時には、新聞社より鉛の半円版をお借りして展示をしました。

二年生の時に新校舎の建設が旧校舎の西側の運動場で始まり、私たちが新校舎で最初に学んだ生徒でした。

文化祭に新校舎の屋上で他高校の女子生徒を交えたフォームダンスを踊ったこと、卒業の年に流行した舟木一夫の「高校三年生」の歌を聴くと楽しかった私の秦野高校の生活が想い出されます。今でも残るポプラの並木、県道に沿っての桜並木、秦野高校の学生生活はその後の私の生き方に大きな道筋を作ってくれたと思います。

身に付いた健脚

秋山幸一（高35回）

秦高を卒業して30年、高校生活を振り返ると、それはとにかく「走る」イメージばかりが記憶に残っている。

体育の授業では、一年中ランニングに明け暮れていた。

秋の校内マラソン大会に向けて、春先から基礎体力強化として毎回4、5kmを走る。

体力的に苦しく、走るたびに嫌気がさしていた。気持ちが前に進まず、多くの人に抜かれることもあった。

授業での記録会の結果は学年毎に順位が張り出される。記録は上位では無かったが、結果表の順位を見ては、次回はもっと良い成績を収めようと気持ちを奮い立たせたことを覚えている。

迎えた秋のマラソン大会では、約10kmの距離を走れるかとても不安だったが、夢中で走りきり、1年生の時には学年で20位以内に入賞することができた。

入賞という結果は自分への褒美となった。

走ることを通じて「前へ」進む気持ちの大切さは、心身の発達に繋がり、社会人生活に大きな財産となった。

健脚となり鍛えられた大腿部は筋肉質から脂質になり、今もその太さは変わらないが……。

「質実剛健」の秦高の校訓に守られ、「走る」ことの意識は、現在も自分の身に染み付いている。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会平塚病院
社会福祉法人 恩賜財団 済生会湘南苑
事務部長 事務長 土屋克巳（高28回卒）

同期会だより

県警広畑会を開催

間庭朝昭（高29回）

平成25年6月29日、藤沢のグランドホテル湘南で、神奈川県警に在職する秦高ＯＢ会（県警広畑会）が開催されました。

日頃から、県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて昼夜を違わず活躍する神奈川県警察にも１２８名の秦高健児が在職しています。

平成23年3月11日東日本大震災での被害は記憶に新しいところですが、そのころ言われた、家族だけではなく、人と人との縁が取り持つ「絆」というものの大切さも教えられました。同じ職場で働きながら同窓生を知らないというのも寂しいと、当時の大和警察署長だった山崎泰男氏（高23回）の呼び掛けで「県警広畑会」を立ち上げました。

今年は、第3回目を数え、当日は、二代目の会長で栄警察署長の山地達也氏（高25回）の乾杯の発声で始まりました。参加者は20名ではありましたが、世代（親子ほどの差!?）や所属、階級を越えた同窓生が、在校時の恩師や部活動の思い出、社会人となっての苦労などで花が咲き2時間があっという間が過ぎ、最後は、校歌を合唱し、盛会のうちに散会しました。

神奈川県警察で働く職員で、秦高同窓生がこうした場で「絆」を深められたことは、何にも代えがたい尊い財産になったと思います。次回は、一人でも多い同窓生が参加されることを願っています。

絆を深め 傘寿を目指す

石黒　實（高6回）

卒業して60年。来年は傘寿を迎える6期同窓生。昨春は箱根湯本「ホテル・おかだ」に二十余名の78歳が参集しました。幹事浅田代表以下は発足以来不変の体制で、中断なく継続開催しています。

宴の定番は近況報告と余興校歌等斉唱です。近況報告は最初だけ司会者が指名、以降は報告者が次々と指名して続行します。現職時代の肩書きを外し、18歳往時の青年の心意気で熱弁は尽きません。校歌・ノーエ節・同期の桜の斉唱では臨時応援団長を選出、肩組み合って盛春を謳歌し、寛ぎと癒しの和気は最高潮に達しフィナーレを迎えます。

一昨年は地元日帰りで「祝喜寿」、女子も含め四十余名の参加で大盛況でした。今年は4月に第60回、来春は「祝傘寿」を開催の予定です。老いて益々盛んな同期会です。

（医）柏木歯科医院
理事長　博士（歯学）　柏木　勝
診療所　小田原市本町１－１－１２
０１２０－２４－２３５２

平成27年度（第10回）校歌祭の幹事校に決定！

校歌祭実行委員長　嶋崎　光

青春かながわ校歌祭には第1回目から毎年参加しており、昨年9月28日(土)に神奈川県立青少年センターホールで開催されました。

昨年は、校歌・第一応援歌・第二応援歌を元気よく歌ってきました。当日は同窓会員24名、教職員1名、在校生29名（ブラスバンド部20名、応援団8名、合唱部1名）、観覧者8名（同窓会員4名、教職員2名、校歌作詞者の孫の葛原眞氏他1名）でした。

同窓会事業で同窓生と在校生が一緒に参加できる事業は校歌祭が唯一の事業です。今後共是非楽しみながらご参加ください。

本年度の『第9回青春かながわ校歌祭』は、横須賀大津高校が幹事校となり、10月12日(日)に、よこすか芸術劇場で行われます。

本年の練習日は、8月23日(土)、8月30日(土)、9月13日(土)、9月20日(土)、10月4日(土)で、いずれも開始時間は10時から、場所は秦野高校視聴覚室を予定しております。

まだ学校行事が確定しておりませんので、日時・場所等の変更が生じるかも知れませんが、その折には秦野高校同窓会のホームページでご連絡致します。

本年は練習日を5回に増やし、同窓会員の皆様が参加し易く致しましたので、ご都合の良い日を選んで、一度でも結構ですので、ご参加頂けます様、本同窓会校歌祭実行委員一同お待ちしております。

さて来年度『第10回青春かながわ校歌祭』は青春かながわ校歌祭振興会より、本同窓会が記念大会の幹事校に推薦されました。その時の実行委員長は、本同窓会長の畑野公保氏が就任されます。本同窓会の名誉にかけて成功させましょう。

第8回 青春かながわ校歌祭　平成25年9月28日　神奈川県立青少年センターホール

同期会への祝金

平成25年度贈呈同期会

中20回　高1回　井上　薫（28名参加）
中21回　高2回　小泉誠一（35名参加）
高4回露木省三（38名参加）
高6回石黒　實（24名参加）
高14回越水　清（42名参加）
高16回関野豊二郎（40名参加）

同期会を開催する場合、同窓会から祝金1万円を贈呈。手続きは、左記の役員に実施計画書・報告書（A4判1枚）を連絡し提出すること。

●伊勢原市桜台1—36—12
田中信一（事務局）
0463—94—4564

●平塚市明石町28—9
メゾン湘南302
関　恒久（副会長）
090—2930—6961

●秦野市ひばりヶ丘5—23
榎本圭治（支部長）
0463—81—7382

各種宴会・料理仕出し
都寿し
伊勢原大神宮前
☎(0463)95—0024・2389

シリーズ 杉山長風（茂夫）先生の記念講演①

～同窓会資料室から～

今から約30年前、秦野高校創立60周年における記念式典で歌人、前田夕暮の研究家として名高い元秦高国語科教師であった故杉山茂夫氏の講演の内容をまとめた資料が、資料室に保存されていました。

弘法山上の夕暮歌碑建立のいきさつ、校門横の夕暮の歌の選出など興味深い内容がそこで話されています。

そこで、我々の大先輩にあたる歌人前田夕暮とその歌碑建立に到る経緯などを先生の講演を何回かに分けて紹介していきます。

（広陵編集委員会）

演題「前田夕暮の歌碑」

久しぶりで秦野高等学校の壇上に立ちました。

そう、昔のことを思い出しますと皆さん方が当時の生徒のような顔に見える。

よくよく考えてみるとその生徒達の子供さんのようです。そう考えてみると私も年を取ったなと思います。

思い出しますと、昭和25年、創立25周年の記念に於て盛んな文化祭をやろうという話がでました。2学期早々から話が盛り上がって、さぞかしどんな文化祭がと楽しみにしておりました。

そういう時は、どこの学校でも文化祭というと、それぞれ予算の取りっこ。当時生徒会の会長は須山和成君、副会長は喜多実君で、生徒会の中心の役員でありました。予算のことで、いくら生徒会を続けてやってもまとまらない。何しろ予算も膨大なものを持ってくるので…、という話をちらほら聞いておりました。

生徒会の役員はどうしたらよいか途方にくれてしまったのでした。それがために、係ではないので余計なことと思ったが、須山君、喜多君ら役員を呼びまして、「生徒集会をやっている講堂に私が行って話をして見ようから」、と共に講堂に行きました。

全生徒も、連日の集会でそろそろくたびれているようであった。そこで私は結論を先に言ったのでした。

「予算のこともあるし、あれをやろう、これをやろう、といろいろ考えてもいようが、秦野高等学校の生徒でなければ出来ない事をやってみろ。何をぐずぐずしているのだ」と、まず発破をかけました。

「文化祭などは日本国中どこの高校でもやっている。とにかく秦野高等学校の生徒でなければ出来ないことをやるのだ。それはどうする事だとは、明日の生徒会集会で決めよう。」と宿題にして閉会にしたのでした。次の日の放課後の午後、生徒集会を開催しました。昨日約束した宿題はと催促してみたが、あちらこちらら小声が聞こえるも、手を挙げて答える者がなかったのです。そこで私は、「この大根に生まれ、中郡共立中学校（現秦野高校）に学んだ我々の先輩の、明治・大正・昭和の大歌人前田夕暮の歌碑をこの故郷の弘法山上に建てることである。明治以来歌壇は「浅香社」（落合直文）、正岡子規の流れの「アララギ」「心の花」（佐々木信綱）、その他「新詩社」、「明星」、「白菊会」、「車前草社」等々の結社の集団名があるが、明治から大正の時代にかけて、「牧水夕暮時代」という固有名詞の日本歌壇をなした事は前後未曽有、その大歌人、前田夕暮の歌碑建設である」と諄々と説き、「3年生よ。君達を思えば、秦野中学校（旧制）1年に入学してからここに6年間勉強しているので、この3年生が一番分かりがいいはずと私は思うのですが」といいましたら、突然起こった3年生の拍手喝采でありました。

すると、須山君が、喜多君か分からなかったが起き上がって、2年生1年生に「君達、後を継いでやってくれ、3年生の我らは、2学期、3学期は大学入試に、就職関係に忙しいから。」というわけで在校生の1、2年生に託して彼等は卒業して行きました。私はね、やっぱり戦後の今の時代、日本で一番いい生徒は秦野高校だと思っています。心情が脈々として今日の皆さん方の

胸の内に続いているんじゃないかと思いながら、私が創立60周年、草創１００年の記念の壇上に立つことは、光栄であり、感激でありました。

昭和25年12月24日、金持校長は、須山和成・喜多実の両君を連れて中村新治町長（当時はまだ秦野町）を訪問されたのでした。町長さんは思いもよらない事でびっくりされたそうです。びっくりしたという事は、この地方の文化の発展の為の原動力になる立派な記念事業である。秦野高校の生徒は凄いんだな、立派だということであったと思います。いたく感動されて、町長さんは、どこかの予算を削って、無理してでも協力する事を決められたのでした。

大体どこでも翌年の予算はこの年の25年の9月か10月頃までには決定されるのでしょうから、協力決定も格別な御尽力だったと私は思いました。

それからは、本校の先生であり、同窓会の副会長でおられた宮本信義先生の協力をお願いし、更に校長先生にお願いして、特別暇をいただいて宮本先生とともにその間の交渉等に当たりました。

次号へ続く

神奈川県立秦野高等学校同窓会委員会の組織　平成26年２月現在

会　長	畑野公保（高７）	
副会長	総務担当 苅籠光男（高16） 石田邦雄（高７）	**総務委員会** 委員長　宮永浩年（高３） 委　員　渡邊周治（高23）　能條　剛（高17）　久保寺富男（高11） 田中信一（高18）　高梨　剛（高34）　瀬戸紀彰（高44） 亀井ゆう子（高57）　木村菜花（高57）　木村輝夫（高24） 高田万友美（校内） **名簿管理委員会** 委員長　小泉広澄（高17） 委　員　奥津光弘（中20）　三浦芽久（高65） 山口隅造（高９）　山口輝久（高13）　山田圭二（高50） 笠原将昌（高35）　山田　梓（高59） **資料委員会** 委員長　櫛田和幸（高18） 委　員　大澤秀男（高14）　村上広敏（高22）　梶山友吉（高23） 山岸保則（高58）　三橋弘明（高59）　小島裕貴（高63） 井上裕大（高64）
副会長	広報担当 青木利之（高４） 大庭　進（高７）	**会報委員会** 委員長　青木利之（高４） 委　員　榎本圭治（高２）　小林　充（高５）　小泉広澄（高17） 能條　剛（高17）　北村　卓（高20）　山口知英（高33） **ホームページ委員会** 委員長　山口輝久（高13） 委　員　山口隅造（高９）　笠原将昌（高35）　山田圭二（高50） 山田　梓（高59）
副会長	事業担当 関　恒久（高19） 長沢孝治（高13）	**親睦事業委員会** 委員長　関　恒久（高19） 委　員　関口俊郎（高７）　半澤文子（高８）　原　正一（高11） 相原省三（高11）　石井一男（高17）　八木佳輔留（高30） 藤波　香（高58）　岩田仁美（高62）　佐藤拓馬（高63） **母校支援事業委員会** 委員長　越水　清（高14） 委　員　鈴木栄一（高２）　内藤　優（高６）　相原　彰（高15） 佐野友保（高18）　鈴木盛敏（高43）　栢沼　猛（高58） **校歌祭実行委員会** 委員長　嶋崎　光（高19） 委　員　船津　猛（高２）　相原宏道（高９）　北村紀男（高11） 福田三郎（高13）　飯田重明（高16）　大木伸男（高16） 鳥海増雄（高16）　上野耕平（高17）　吉田信男（高17） 鈴木峰雄（高18）　出縄高昭（高19）　静　裕司（高19） 重田　博（高25）　志村　功（高26）　諸星一政（高27） 平田真一（高28）　石井　圭（高64）

平成25年度　部活動の記録（県大会以上）

部活動名	大会名	結果
野球部	春季高校野球県大会	1回戦
	選手権大会県予選	4回戦
サッカー部	関東大会県二次予選	3回戦
	高校総体県一次予選	ブロック優勝
	高校総体県二次予選	1回戦（ベスト8）
	高校サッカー選手権県大会一次予選	2回戦
	県U-18リーグ7位	グループ3位
陸上競技部	県高校総体	男子3000mSC12位
		女子1500m　5位
		女子3000m　7位
	関東高校総体	女子1500m　8位
	県選手権	女子少年B1500m 8位
		女子5000m　6位
	県高校新人陸上	女子1500m　5位
		女子3000m　5位
	県高校駅伝	男子　14位
		女子　4位
	関東高校駅伝	女子　32位
バスケットボール部（男子）	関東大会県予選	男子　6位
	高校総体県予選	男子　ベスト8
	県新人大会	男子　ベスト8
バスケットボール部（女子）	関東大会県予選	女子　ベスト32
	高校総体県予選	女子　ベスト12
	県新人大会	女子　ベスト8
バレーボール部（男子）	関東大会県予選	男子　ベスト32
	県選手権大会	男子　出場
	新人大会県大会	男子　ベスト32
バレーボール部（女子）	関東大会県予選	女子　出場
	県選手権大会	女子　ベスト32
	新人大会県大会	女子　出場
ハンドボール部（男子）	関東大会県予選	男子　出場
	高校総体県予選	男子　2回戦
	県新人大会	男子　2回戦
	県選手権大会	男子　出場
ハンドボール部（女子）	関東大会県予選	女子　出場
	高校総体県予選	女子　2回戦
	県新人大会	女子　出場
	県選手権大会	女子　出場
ソフトテニス部（男子）	関東大会県予選	男子団体　4位
		男子個人　優勝
	全国総体県予選	男子団体　準優勝
		男子団体　ベスト8
	県選手権大会	男子個人　準優勝
ソフトテニス部（女子）	国民体育大会県予選	男子個人　準優勝
	県新人大会	男子団体　ベスト16
		男子個人　8位
	関東大会県予選	女子団体　7位
		女子個人　ベスト16
	関東大会	女子個人　ベスト32
	全国総体県予選	女子団体　ベスト8
		女子個人　ベスト8
	県選手権大会	女子個人　ベスト32
	国民体育大会県予選	女子個人　ベスト32
	県新人大会	女子個人　ベスト32
硬式テニス部（男子）	県新人大会	男子団体　ベスト16
		男子個人SD　本選出場
硬式テニス部（女子）	関東大会県予選	女子個人SD　本選出場
	県新人大会	女子団体　ベスト32
バトミントン部	県新人大会	男子ダブルス　出場
		女子団体　出場
		女子ダブルス　出場
卓球部	関東大会県予選	女子　ベスト16
	県新人大会	男子団体　ベスト32
弓道部	関東大会県予選	女子個人　6位
	全国大会県予選	男子個人　5位
	県新人大会	男子個人　優勝
柔道部	国体県予選	男子個人60kg級　ベスト16
	国体県予選	副将の部　ベスト16
	県新人戦	団体3人制ベスト8
剣道部	関東大会県予選	男子団体　4回戦
	全国大会県予選	男子団体　5回戦
	県新人戦	男子個人　5回戦
		女子個人　5位
山岳部	全国総体・関東大会県予選	14位
	関東大会	出場
	県新人登山大会	スポーツクライミング参加
チアリーディング部	USA Regional Competition2014	Show Cheer 高校編成 Novice部門　2位
かるた部	県かるた選手権大会	個人D級　準優勝
	全国かるた競技静岡大会	個人E級　4位
弦楽合奏部	県器楽・管弦演奏会	出場
	全国予選（全国高総文祭県合同オーケストラ参加者オーディション）	4名通過
茶道部	高文連高校生茶会	出場
美術部	高校総合文化祭美術展	出場

平成25年度全国大会派遣支援活動報告

全国大会派遣支援会
実行委員会会長　越水　清

平成25年度の全国大会に出場する母校在校生への支援金を募りましたところ、82人と一同窓会支部の同窓会員、旧職員から御芳志を賜りました。厚くお礼を申し上げます。

平成25年度は、全国高校総合体育大会ソフトテニスと、全国高校短歌大会へ出場した在校生に支援金を援助いたしました。

今後とも、よろしく御支援の程、お願い申し上げます。

平成25年度の会計報告及び支援金協力者は、下記のとおりです。

平成25年度全国大会支援金収支決算報告書

収入の部

摘　要	収入金額(円)	備　考
繰越金	1,335,022	前年度よりの繰越金
利息	351	預金利子（168円、183円）
振込金	549,310	
合計	1,884,683	

支出の部

項　目	支出金額(円)	備　考
支援金	100,000	全国総合体育大会ソフトテニス(40,000円)
		全国高校短歌大会(60,000円)
印刷代	4,200	平成25年度振込者礼状印刷代
通信運搬費	6,640	切手代
手数料	120	残高証明書振込手数料
合計	110,960	

会計報告

収入　1、884、683円
支出　110、960円
残金（繰越金）1、773、723円

平成25年度全国大会支援者（振込者）

中12濱田勝彌　高9湯本玲子　旧職員
中13大庭利夫　高10大塚忠雄　高26小林善信　小池ひろ子
中13加藤好男　高11鵜飼　武　高26武井達夫　中山鋭三
中14西山　勲　高11松本榮次　匿名1名
中15高橋　繁　高12多田孝文
中17小林好雄　高13佐々木洋之
中17松本悦雄　高13（匿名）
中17柳川三郎　高13古谷嘉久
中20神保　武　高13増田邦好
中20高山智博　高14越水　清
中20中野和雄　高15赤坂勝己
中20原　久　高15長塚一雄
併1清水忠造　高16苅籠光男
高1高橋　旭　高17太田耕作
高1長谷川達朗　高17長井栄一
高2石井淳一　高17能條　剛
高4谷亀昭二　高17和田厚行
高4柳川幸市　高18榎本芳男
高5栗原重雄　高18吉田英一
高6杉山　昇　高19遠藤利明
高6内藤止徳　高19関　恒久
高9相原宏通　高20山田信雄
高9府川道明　高22加藤和廣

高26大澤勝寿
高26小林善信　小池ひろ子
高26武井達夫　中山鋭三
高28辻村　保　匿名1名
高28星　武志
高29鳥海　晃
高29山口　修
高33大石慶之
高36飯田利江
高37飯沼正勝
高38増井秀水
高42岩崎貴之
高43柏原雅典
高44岩崎宏之
高47秋山弘幸
高47森田基樹
高51小室直樹
高58小泉陽菜
高60（匿名）
高64（匿名）
コーシン（仮名）
同窓会足柄支部

◎仮名はそのまま記入しました。2度お振り込みいただいた会員が11人ありました。

引き続き、派遣支援活動は、継続して行いますが、創立90周年の醵金をお願いすることもあり、支援金振込用紙は平成26年、27年に限り、送付しません。

寸描　母校2013年度
—平成25年度の進路状況と今後の取り組み—

キャリア教育支援グループ　柏木真人

今春の入試の受験環境と志願動向のまとめとしては、18歳人口前年から4万人減の118万人、受験生の志向が文低理高、地元志向の継続および旧課程の最後の入試ということが挙げられるようです。

それらの取りまく環境のもと、本校の平成25年度卒業生362名の進路状況の報告をします。4年制大学299名（国公立14名含む）、短期大学7名、専門学校17名、就職4名、進学準備35名となっています。分析としては、前述しました来年度から新課程入試開始ということもあり進学準備者が35名（前年比8名減）と更に減りました。（参考…3年前は66名が進学準備者）

割合は、4年制大学進学者83%、短大・専門・就職者合わせて7%、進学準備者10%であり、4年制大学進学者数の割合はここ数年で最高となっています。内訳としては、私立大学の延べ合格者数が751名（前年比25名増）と微増、学力向上進学重点校としての本校の一つの指標としてGMARCH（注）の延べ合格者数116名（前年比マイナス13名）と微減していますが、早慶上理の延べ合格者23名（前年比プラス7名）と微増ではあるが上昇傾向です。但し、国公立の合格者数の中で、東工大現役合格も含んでいますが、全体で15名（参考…H23年度20名、H24年度15名）であり、ここ数年伸び悩みの現状があると分析しています。また指定校推薦の進学者数は57名（前年比11名減）で、ここ数年で一番少ない人数となりました。これは妥協を許さず志望校目指し一般受験で果敢に挑戦した生徒が多かったあらわれでしょう。

そこで総合的学習をキャリア教育と結び付け『生徒の気づき』を大切に、生徒の一人ひとりの進路実現を可能とし学校全体で組織的に取り組むため、昨年度から「ドリカムノート」（進路実現ノート）を準備・作成し、今年度から活用にふみきる運びとなりました。

（注）GMARCHとは、学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政のこと

2013年度（平成25年度）卒業生の大学・短大進路状況

	合格者	入学者	入学者内訳			
			一般入試	指定校推薦	公募制推薦	AO自己推薦
国公立大学	15	14	11	0	3	0
私立大学	751	285	211	54	11	9
短期大学	10	7	3	3	0	1
専門学校	17	17	—	—	—	—
就職	4	—	—	—	—	—

はなさよ
花小代
伊勢原市桜台1-23-38　TEL（0463）96-1187

2013年度　主な大学・短大合格者延べ数

国公立大学

大学名	現	卒
秋田大		2
山形大	1	1
茨城大	1	
東京工業大	1	
東京農工大	1	
横浜国立大	2	
静岡大	1	1
鳴門教育大	1	
茨城県立医療大	1	
首都大学東京	1	
横浜市立大	1	
神奈川県立保健福祉大	4	

私立大学

大学名	現	卒
青山学院大	19	4
桜美林大	19	
大妻女子大	4	
学習院大	3	1
神奈川工科大	14	
神奈川大	51	4
鎌倉女子大	12	
関東学院大	16	2
北里大	14	2
共立女子大	3	
杏林大	9	
慶應義塾大	1	
工学院大	4	1
國学院大	15	
国際医療福祉大	12	
国際基督教大	1	
国士舘大	11	
駒澤大	31	2
相模女子大	11	
芝浦工業大	1	
上智大	7	2
昭和女子大	7	
昭和薬科大	2	1
成蹊大	2	3
成城大	11	
専修大	40	6
玉川大	28	4
中央大	35	5
帝京大	13	
帝京平成大	13	
東海大	33	1
東京家政学院大	3	
東京都市大	31	7
東京電機大	2	1
東京農業大	23	
東京薬科大	6	
東京理科大	4	2
東洋英和学院大	7	
東洋大	11	4
獨協大	3	
日本女子大	4	2
日本体育大	2	
日本大	42	10
フェリス女学院大	3	1
法政大	29	10
明治学院大	16	7
明治大	28	9
明星大	7	
横浜薬科大	5	1
立教大	2	3
早稲田大	11	7

私立短大

大学名	現	卒
鎌倉女子短大	3	
湘北短大	1	
東海大学医療技術短大	2	
川崎市立看護短大	1	
東京農大短大	2	
帝京短大	1	

大山まんじゅう本舗
良辨
小笠原久男（高17回卒）　神奈川県伊勢原市大山455
TEL&FAX (0463) 95−2033

叙勲

おめでとうございます。（敬称略）

瑞宝双光章（消防功労）
上野　哲男（高18回）
（元秦野市消防団長）

瑞宝単光章（鉄道業務功労）
石射　史郎（高20回）
（元小田急電鉄、新百合ヶ丘駅長・秦野駅長）

旭日双光章（地方自治功労）
草山　忠文（高14回）
（元秦野市議会議員）

春の異動

次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。（敬称略）

【退職】
木曽　良美　柳下　宗保
小倉　正廣

【転任】
時乗　洋昭（湘南）
根岸　清一（厚木商業）
小島　雅彦（厚木西）
吉良　純平（厚木東）
長谷部絵理（足柄）
篠原美恵子（小田原）
金築　真実（隠岐水産）
高縁　健二（大磯）
神谷　聡子（伊勢原）
長谷川　穂（多摩）
山田　亮輔（厚木清南）
川井　真由（松陽）

物故者

慎んでお悔やみ申し上げます。（敬称略）

【旧職員】
石原　正三（中15）
石井　信義　兼瀬　邦久
山口　典子（高34）

【会員】（敬称略）
中3石塚富士男　中13水上　逸
中4青木照福　中14生沼敏夫
中5宇山武夫　中14水野一二
中7加藤　晃　中16宮永行雄
中8津田辰雄　中16小林　幸
中10稲毛三郎　中17瀬戸　茂
中12伊与田久雄　中17瀬戸良平
中17正木国雄　高4陶山高義
中17西山泰義　高4瀬戸三幸
中17浅野正躬　高4内藤久徳
中17内藤邦彦　高4伊藤房雄
中17露木晃一郎　高4小泉信次
中18高橋和男　高5森谷　実
中19岡本惣太郎　高5三嶽三郎
中19加藤暉治　高8美濃口勝治
中19吉田久司　高10矢代隆助
中19鍵和田努　高10熊澤佐夫
中19曽我誠一　高12吉野正司
中20稲城　貢　高13今井　昇
中20梶山良孝　高16佐野昭司
中20諸星　武　高17加藤敏雄
中20鈴木勲二　高18高橋　稔
中20横溝英一　高19小澤真一
中21浅田　仁　高20岩本武志
高2穐山久顕　高27諸星通泰
高3竹内重雄　高35根本隆浩
高3加藤武雄

●訂正とお詫び

●本誌42号（8頁、3段8行目）で「波のしらたつ」を「波のよる見ゆ」。（8頁、3段9行目）で「山塊集」を「金槐和歌集」に訂正。

●（18頁、2段）物故者で、中13鷲尾　隆様削除。

秦高創立90周年に向けて

平成28年に秦野高校は創立90年を迎えます。高校、PTAそして同窓会を3本柱とし、老朽化した校舎や設備等の改修も含めた周年記念行事等を計画して参ります。同窓会の皆様方のご協力をいただき、周年行事を遂行したいと考えています。

同窓会としても、今年から醸金活動を開始します。一口2千円以上で御願いいたします。詳細については次号に掲載します。

編集後記

●今号から装いを新たに表紙が変わりました。東京都練馬区在住の岡村泰成氏（高6回）に描いていただきました。

●16年ぶりの広告掲載です。会費減少の中で、ご協賛を頂いた皆様には感謝申し上げます。

●「第10回青春かながわ校歌祭」の幹事校に決まりました。総力を挙げて成功させましょう。皆様方の応援よろしくお願い申し上げます。（青木）

〒257-0004 秦野市下大槻一一三番地　県立秦野高等学校内
秦野高等学校同窓会 会報委員会
ホームページアドレス　http://www.koryokai.info/
振替口座　00120-8-22689
発行責任者　**畑野公保**（高7）　**榎本圭治**（高2）
青木利之（高4）　**小林　充**（高5）
小泉広澄（高17）　**能條　剛**（高17）
北村　卓（高20）　**山口知英**（高33）